

令和8年度 社会福祉法人弥富市社会福祉協議会 事業計画

《基本理念》

～ 人にやさしい住みよい福祉のまちづくり ～

“や” やさしさにあふれ

“と” ともに生き

“み” みんなでつくる魅力あるまちの

“ふ” ふだんの

“く” くらしの

“し” しあわせ

『や・と・み・ふ・く・し』の発展向上に努めてまいります。

《基本方針》

近年の物価高騰は「衣・食・住」全てにおいて波及していることから、高齢者や障がい者、生活困窮者の方々の日常生活にも多大な影響を及ぼしています。また「福祉課題」が日々増加し、なおかつ複雑化・複合的な問題が多く、解決したとしてもまた同じ問題を繰り返すという負の連鎖が止まらない世帯も見受けられます。

本会としましては、高齢者や障がい者、生活困窮者などが抱える様々な福祉課題に対して、行政、福祉施設や事業所等のフォーマルな資源だけにとどまらず、区長会、民生・児童委員、ボランティア団体や近隣住民等インフォーマルな資源との連携も一層強化し、重層的支援体制の整備に向け、地域社会がつながり、誰もが安心して暮らすことのできる地域を目指して、福祉サービス事業を推進してまいります。

そして、地域福祉の中核として信頼される組織を目指し、包括的な支援体制（地域包括ケアシステム）の整備を図り、人と人、人と社会が世代や分野を超えてつながる“みんなで作る”『地域共生社会』の実現に努めてまいります。

《重点目標》

- ① 地域住民とともに福祉のまちづくりを進めるためのささえあいネットワークづくりを推進します。
- ② 重層的支援体制整備事業を推進します。
- ③ 次世代を担う子供たちが無理なく福祉を学べる場づくりや福祉教育を実施します。
- ④ 生活困窮者自立支援、日常生活自立支援、各種相談支援などにより、障がい者や高齢者等が安心して暮らせるよう支援します。
- ⑤ 小地域での見守り活動等により、一人暮らし高齢者等への情報発信や安否確認等のきめ細やかな対応や支援につなげます。
- ⑥ 事業継続計画（BCP）に基づき、災害発生時の対応と災害ボランティアの運営を強化します。
- ⑦ 虐待防止、身体拘束廃止・適正化を徹底します。

《事業内容》

◎総務地域福祉部門

(1) 総務福祉援助

(ア) 法人運営事業

- ・理事会評議員会 ⇒ 法人運営事項について、協議、議決を行います。
- ・会員の募集 ⇒ 『福祉協力会員』の周知・宣伝を行い、理解促進を図り、一般会員及び法人会員の増員に努めます。また、自主財源の確保のため、寄付機能付自動販売機の普及・促進も努めます。
- ・体制の整備 ⇒ 「発展・強化計画」をPDC Aサイクルにより生じた中間、事後報告での課題等の改善に努めます。
- ・寄付者等の顕彰 ⇒ 高額寄付者等の顕彰を行います。

(イ) 心配ごと広報貸出事業

- ・心配ごと相談所の開設 ⇒ 一般相談(毎月第2水曜日)、弁護士による法律相談(毎月第2水曜日、第4木曜日)及び司法書士による相続登記等相談(奇数月第3水曜日)を行います。
- ・広報活動 ⇒ 本会ホームページの更新や広報紙『やとみの福祉』を年2回(8月、翌年1月)発行します。また、公式SNSを通して本会の福祉活動の周知やサービスの紹介に努め、市民との良好な関係を構築し、災害時等の情報発信に留まらず、社会のニーズや変化に対応します。
- ・見舞金の贈呈 ⇒ 罹災見舞金を贈ります。
- ・法外援護費の給付 ⇒ 行旅病人等への援護費の給付を行います。
- ・福祉用具短期貸出事業 ⇒ 車いすやボッチャ等の短期間貸出を行います。

(ウ) 生活福祉資金事業

- ・生活福祉資金貸付事業 ⇒ 県社協と連携し、資金の貸付、相談を行います。

(エ) ぐらし資金貸付事業

- ・ぐらし資金貸付事業 ⇒ 低所得者対象に小口資金の貸付、相談を行います。

(2) 地域福祉事業

(ア) 福祉まちづくり育成事業

- ・地域福祉活動事業 ⇒ 福祉施設等で中学生、高校生の福祉体験学習の促進や福祉体験作文・共同募金作品コンクール等、各種地域福祉事業の企画立案を行います。また、夏休みを中心に福祉施設等で中学生、高校生の青少年ボランティア体験学習を行います。
- ・結婚活動支援事業 ⇒ 毎月1回(第2水曜日)結婚相談を行います。結婚希望者の活動を支援します。
- ・団体育成事業 ⇒ 各種団体の事務局を設置し、活動費の助成を行うほか事業の計画、実施の援助を行います。

[福寿会連合会・子ども会連絡協議会・ひまわり会・すっこっこ・愛西断酒会

共同募金委員会・民生委員協議会・Sリンク等]

(イ) 重層的支援体制整備事業 ⇒ 世代や属性を問わず包括的に相談を受け止め、支援機関のネットワークで対応できる支援体制整備を行います。「ふくし総合相談窓口」を市役所福祉課内に置き市役所各課や様々な支援機関が抱える複雑・複合的な困難ケースの支援の調整を行います。市民に対して、身近な相談窓口となれるように窓口の設置だけでなく、アウトリーチを実施し潜在的な相談者の発見と継続的な訪問等による伴走支援を行います。また、社会とのつながりを回復するきっかけづくりとして、個々にあった参加支援と多様な居場所の在り方への働きかけや居場所づくりの働きかけを行います。

(ウ) 敬老事業 ⇒ 米寿祝品の贈呈及び金婚式を行います。

(3) 共同募金配分金事業

(ア) 高齢者福祉事業 ⇒ ひとり暮らし高齢者を対象に見守り活動を行います。

(イ) 障害者福祉事業 ⇒ 障がい者を対象に『やとみふくしバス旅行』を行います。障がい児を対象に体験・社会見学をする『夏休み企画』を行います。

(ウ) 児童福祉事業 ⇒ ひとり親家庭の親子を対象に体験・社会見学をする『夏休み企画』を行います。児童・生徒会の育成を図ります。

(エ) ボランティア福祉育成事業 ⇒ ボランティア連絡協議会の活動費助成、支援等を行います。また、ボランティアニーズ等の把握、ボランティア講座等を開催します。市内の学校を社会福祉協力校に指定し、福祉実践教室等の実施、支援、協力を行います。カラオケ交流会を実施します。

(オ) 災害ボランティアセンター事業 ⇒ 大規模災害に備えた各種連携強化、災害ボランティアセンターを設置運営します。

(カ) 災害ボランティアセンター ⇒ 災害発生時に本会が組織として災害ボランティアセンターを円滑に立ち上げ・運営できる体制を構築します。

(キ) 歳末たすけあい配分金事業 ⇒ 住民の福祉への関心を高めるとともに、様々な形での福祉への参画の機会を企画、立案します。表彰式及び福祉映画会を実施します。

◎福祉サービス部門

(1) 訪問介護事業所 『弥富市社会福祉協議会なでしこ指定訪問介護事業所』

(ア) 訪問介護事業 ⇒ 要介護・要支援者宅にホームヘルパーを派遣し、身体介護、生活援助を行います。

(イ) 障害者居宅介護等事業 ⇒ 障がい者宅にホームヘルパーを派遣し、身体介護、家事援助、移動支援を行います。

(ウ) ホームヘルプサービス事業 ⇒ 市の要請によるホームヘルパーの派遣及び自費のホ

ームヘルプサービスを行います。

(2) 支援事業

(ア) 相談支援事業

相談支援事業所 『弥富市社会福祉協議会なでしこ指定障害者相談支援事業所』

- ・ 指定特定相談支援事業 ⇒ 障がい者及びその家族からの相談を受け、サービス等利用計画の作成を行います。
- ・ 指定障害児相談支援事業 ⇒ 障がい児及びその保護者から相談を受け、障害児支援利用計画の作成を行います。
- ・ 相談支援受託事業 ⇒ 障がいのある人等からの相談に応じ、必要な情報の提供等を行います。
- ・ 障害支援区分認定調査受託事業 ⇒ 障害支援区分の認定調査を行います。

(イ) 日常生活自立支援事業 ⇒ 認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者等の判断能力が十分でない方のために、福祉サービスを利用する際の援助や日常的な金銭管理、書類等の預かりサービスを行います。

(ウ) 生活困窮者自立支援事業 ⇒ 生活困窮者の自立の促進に関し、包括的な支援を行う相談支援窓口として、『生活自立支援センター』の受託運営を行います。また、生活困窮世帯等への教育の機会均等及び必要な環境整備を図るために学習支援を行います。

(3) 施設福祉

(ア) チャレンジハウス弥富 ⇒ 一般企業等での就労が困難な障がいのある方に働く場を提供するとともに、就労移行に向けた知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います。

(イ) 生活介護十四山 ⇒ 自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、常時介護を要する利用者に対して、入浴、排せつ又は食事の介護、創作的活動又は生産活動の機会を提供します。

(ウ) 送 迎 ⇒ チャレンジハウス弥富及び生活介護十四山の利用者の送迎を行います。